

令和6年度 名取市地域ケア推進会議 概要報告書

<日 時> 令和6年8月28日(水) 午後6時30分から午後8時15分

<会 場> 名取市民体育館 第1会議室

<出席者>

委員：溝井会長、轡副会長、久保田委員、大友委員、大内委員、遠藤委員、菊地委員
村岡委員、佐藤委員（欠席：洞口委員）

地域包括支援センター：東地域：佐藤所長、南地域：宮地所長、西地域：桃野所長、
中部地域：北條所長

オブザーバー：名取市医療・介護連携支援センター 高橋相談員、
名取市認知症初期集中支援チーム 尾形チーム員

事務局：安倍健康福祉部長、中山次長兼課長、高橋課長補佐、佐藤技術主幹、
相澤技術主査、大竹保健師、山崎

傍聴者：なし

<内 容>

【 委嘱状交付式 】

1 開 式

2 委嘱状交付

代表受領：安倍健康福祉長より、溝井 賢幸 委員へ交付

3 閉 式

【 令和6年度 名取市地域ケア推進会議 】

1 開 会

2 あいさつ 名取市健康福祉部長 安倍 卓

3 委員紹介(自己紹介)

4 会長・副会長の互選

会 長：溝井 賢幸 委員

副会長：轡 基治 委員

5 議 事

協議事項

(1) 情報公開への対応について 資料1 (事務局より説明)

(2) 会議公開について 資料1 (事務局より説明)

(1)(2)とも事務局案の通り決定

報告事項

(1) 地域ケア推進会議について 資料2 (事務局より説明)

(2) 医療・介護連携支援センターの取組状況について 資料3
(高橋相談員より説明)

- (3) 認知症初期集中支援チームの取組状況について 資料 4
(尾形チーム員より説明)
- (4) 令和5年度 地域ケア会議の開催状況について 資料 5 (事務局より説明)
各地域包括支援センター所長より補足説明

議長：委員のみなさまから今の説明に対してご意見やご質問はございますでしょうか。

委員：特になし

議長：それでは報告が終わりましたので、それぞれ委員の方からご意見やご感想を頂ければと思います。まず私から申し上げますが、今の説明で、地域ケア推進会議、地域包括支援センターを中心として、活発に行われていたことが分かりました。医療介護連携支援センター、認知症初期集中支援チーム二つのチームどちらも活発に動いているとわかりました。今後高齢化が進むにあたって、認知症の方は増えていくと思います。そのような方をどのように支援していくのが大切だと思います。初期から中期にかけて行動・精神行動が多くなる。そもそも認知症であること自体が、うまく拾い上げられないケースが表面化しないではないか。通院している方でも、だんだん通院間隔がばらばらになっていき、話していてもこの方すこしおかしいなと思う方もいらっしゃるが、そういう方は大体一人で来るから家族に確認しようとしても難しいことがあります。こういう方や一人暮らしは増えていますし、家族は離れたところにいます。難しいケースが増えていくと思う。隠れた認知症の方をどう拾い上げていくかが大事なんじゃないかと思います。それではご感想やご意見をお願いいたします。

委員：20年前までは訪問診療を行っていたので介護や医療の現場に関わっているときがあったのですが、開業してから認知症の方に接する機会は減っています。来ている方で独り暮らしであったり、認知症の方がきたときに、正直どうしたらいいんだろうと思うことがある、実際このようなシステムができていることを紹介したり、私の方から情報発信自らできるような状態を作っていきたいと思う

委員：この会議に久しぶりに出席させていただき、いろいろ話を聞いた中で、薬剤師会の代表として幅広い視点でご説明いただき、薬剤師会に共有したいと思います。出席してみてそういえばこれどうだったっけということが何点かありましたので共有させていただきます。

二市二町連携シートを使った連携支援はご覧になったことはあるか。

相談員：一応推奨させていただいている。使っている方使っていない方いらっしゃる。使いやすいうように使っていただければいい、臨機応変に対応できればいいと思う。連絡の取りやすい、あとは電話やメールが。わたしは広域で連携することはない。連携事例があったときは紹介いただきたい。

委員：地域ケア会議に参加させていただいた際に、民生委員の嘆きの声が多かったことが気がかりになっており、今後どうなってしまうのだと心配になった。地域に住んでいてアンテナをはっていただくのは大きな資源だと思う。民生委員は民生委員法のもとで活動されているが、どうやってその役を引き継いでいくのか問題。民生委員法で、下の世代が受けてもらえるのか。継続していた別の形で、いけるのか、名取市としてなにか考えていることがあれば後ほど教えていただきたい。

議長：二市二町連携シートの補足になりますが二市二町連携シートはそれなりに活用されていると思います。ケアマネジャーが一番使っているのではないかな。おそらく我々が使えていない。

委員：今回初めて参加させていただくにあたって、地域ケア推進会議って何をするのだろうと緊張しました。介護の施設に入ると、地域と切り離されてというようなところをお持ちの方が多いいのではないかと思います。施設に入居しても地域とつながっていける、どのようにしたら地域の課題を耳に入れながら考えてこれからも行ければと思う。

委員：地域ケア会議、全体としての整理がついて参考になった。保健センターの方に居ますが、保健センターでは介護保険の前の方、成人期の方に健診を受けていただいたり、保健指導を行ったりというところで情報提供をさせていただきます。名取市の人は血糖が高い

のが特徴で、糖が高いと認知症になるリスクが高くなります。予防していく、メタボの人も多い、保健指導をして、介護に関わらせて行こうとは思う、保健センターと介護長寿課の方で高齢者の一体的実施事業を行っている、今後も連携していきいきと生活できるようにしていきたい。

委員：警察の立場から見ての高齢者としては、所在不明として保護される方は繰り返し、ご家族の方も疲弊しています。警察に対して強制入院を希望している人もいらっしゃる。そういったところで、ご家族のケア、家族の感情に配慮しながら、高齢者を守りながら、家族の思いも聞きながら支援していくのは難しいと感じているところです。警察は一時的な対応しかできない。

認知症の高齢者の方、高齢世帯の家庭内のトラブルが多く、高齢者間のDV、高齢の親対精神障害を持つお子さんが多いです。いまさら離婚なんてできない、精神障害をもった子供を置いていけない、そのようなこともありなかなか解決に至らない現状があり繰り返し起きています。今後とも行政と協力していきたい。

委員：本日は各事業を丁寧にご説明していただきありがとうございました。社会福祉協議会としては、地域包括支援センター毎に開催される地域ケア会議に出席することが多いのですが、その中で感じていたこととして、各所長さんが大きい地域じゃなくて、小さい地域で課題があるとおっしゃっておりほんとにその通りだと思います。大きな一つの地区でもその中で細かい地域課題があるということを、皆さんが気づかれてこれからの名取の住みよい地域づくりがますます発展する。

社会福祉協議会も地域福祉を担う事業所として地域ケア会議にも積極的に参加をさせていただいて、地域住民の生の声を聴きながら地域づくりに取り組んでいきたいです。

委員：施設勤務が長かった。居宅のケアマネになって、考え方も地域に目を向けるようになってきたかなと思います。認知症の方と関わることも多い。近所の人に認知症の理解を求める、協力して連れてきてもらう、現代の社会で地域のつながりがあるのだと思う、担当しているがすぐには駆け付けられない。地図、ファイル、など資料は作成している。地域の方の声を聴くことができてよかった。意見を吸い上げていくことができればいいと思う。町内会長は高齢化、70歳代でも働いている人が居る。やる人が居ないという悩みもある。連携シート、入院した時、先生に支持をもらう時に使用している。災害時の時、担当しているケアマネジャーがすぐ駆け付けられない時に他のケアマネジャーと協力してすぐ駆け付けられるようにしている。

中部地域包括さんの方で地域ケア会議に参加させていただき、地域の方の生の声を聴き参考になりました。町内会長さんも高齢になっていた、働いている方もいてなり手がいない。最後に、連携シートは先生の方に指示などをいただくのに使用しています。

委員：施設勤務が長い、地域の支援を受けた方を長期で受け入れている。緊急性の高い方を受け入れることはないのですがショートステイのお迎えに行くとき、この方の家族は自宅で大丈夫なのかな、面会に来るお母さんの様子が少しおかしいなということをキャッチすることがあるのですが、そういった情報はどうしたらいいのか。利用者を受け入れるにあたって見えてくる家族の方などの支援もしていけたらと思う。ケアマネジャーに情報を共有することくらいしかできないのですが住みやすい地域になるのではないかと思います。

議長：一巡しましたが、ほかに何か追加でご意見がありましたらお願いいたします。

委員：特になし。

議長：ご意見等なければ、以上で本日の議事を終了いたします。ご協力ありがとうございました。

6 その他

司会：それでは、「その他」に移ります。委員のみなさまから何かお伝えしたいことはありますでしょうか。

委員：特になし。

司会：事務局から次回の日程についてご連絡申し上げます。今年度は2回の推進会議を予定しております。詳細が決まりましたら、改めてお知らせいたしますので、よろしくお願いいたします。

閉会の挨拶

副会長：お忙しい中お集りいただきありがとうございます。本日はお疲れ様でした。今回のような意見交換の場があることはありがたいことだと改めて痛感しました。個別ケースの対応について勉強になりました。防災体制や地域のシステム構築については、地震や水害等の対策に加え、感染症の対策についても今後の地域の課題になると思いました。こういったように課題が複雑化していきますが、今後も皆様と取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。本日はどうもありがとうございました。お疲れ様でした。

7 閉 会